全建発第１５～０７５号
平成１５年５月２３日

行政機関の長　　殿
土木等部門の長　　殿

社団法人　全日本建設技術協会
会　長　　鈴　木　道　雄

第４７４回建設技術講習会（河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題）開催のご案内

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員約１０万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。 これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められております。

このたびの第474回建設技術講習会では、「河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題」をテーマに、１日目は、事業評価、総合的な治水対策のあり方や都市防災上の課題等について学び、２日目は分科会により、河川行政については、住民参加、環境との調和、水情報国土（ＩＴ化）、都市型水害への対応等、都市・地域整備行政については、都市計画制度、街路・市街地整備の動向、まちづくり総合支援、都市景観と緑化等の最新の情報を得ることを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。　　敬　具

写

全建発第１４～２４９号
平成１５年１月６日

社団法人　全日本建設技術協会
研修委員長　　北　橋　建　治
（国土交通省大臣官房技術調査課長）

平成１５年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいており、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、平成１３年４月から適用された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成１５年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いであります。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

全建発第15-063号
平成15年５月23日

殿

社団法人　全日本建設技術協会
会　長　　鈴　木　道　雄

第474回建設技術講習会（河川行政の課題、都市･地域整備行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。
本協会では、平成15年７月30日（水）～８月１日（金）、新潟市において標記講習会を開催いたします。
この講習会では「河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、事業評価、住民説明、住民との協働・パートナーシップの進め方等について学ぶとともに、河川については、総合的な治水対策のあり方、環境との調和、水循環の健全化、河川管理等、都市・地域整備については、都市の再生・再構築、まちづくり、都市景観と緑化、都市内交通問題、都市防災等の最新の情報を得る」ことを目的としています。
なお、本講習会は国土交通省の後援をうけております。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴　講　料：正会員・特別会員・賛助会員…… 9,500円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕
非会員……15,000円〔　〃　〕

③現場研修料：…… 5,900円〔うち昼食代1,200円〕
（現場研修だけの参加はお断りしております）
④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金を添えて期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
申込金が同封されていなかったり、銀行振込の（写）が添付されていない場合は受理できません。
また、**講習会当日、会場での追加申込は原則として受付いたしません。**
⑤申込書送付先：社団法人　全日本建設技術協会　事業課　☎03(3585)4546
〒107-0052　東京都港区赤坂3-21-13　ランディック藤井ビル7F
⑥振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店　普通預金口座№0311142
口座名義：社団法人　全日本建設技術協会
お振込の際は、振込名義の前に、開催回数の「№474」をつけ加えて下さい。
⑦申込締切日：**平成15年6月30日（月）必着（締切日以降に到着したものは受理しませんので、お申込みが締切日直前となる場合は、必ずご連絡下さい。）**

※取り消し・返金について
申込期限後の取り消しについては、返金できません。ただし、公務上緊急の都合による場合に限り、下記のように処理いたします。なお、返金及び欠席者のテキストは講習会終了後に、所属協会宛にお送りいたします。

【返金方法】

平成15年7月18日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成15年7月25日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金いたしません

※テキスト・聴講券及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は両日、講義終了後お渡しします。なお、受講される場合、会場内では聴講に相応しい服装でご参加願います。また、事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に現場研修時は一切お断りします。

講習会の予定(日程、テーマ等)については、全建ホームページもご覧下さい。http://www.zenken.com/

第474回建設技術講習会(河川行政の課題、都市･地域整備行政の課題)日程

―河川行政、都市・地域整備行政に共通する課題として、事業評価、住民説明、住民との協働・パートナーシップの進め方等について学ぶとともに、河川については、総合的な治水対策のあり方、環境との調和、水循環の健全化、河川管理等、都市・地域整備については、都市の再生・再構築、まちづくり、都市景観と緑化、都市内交通問題、都市防災等の最新の情報を得る―

聴　　講……平成15年７月30日（水）、７月31日（木）
現場研修……平成15年８月１日（金）
会　　場……新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」
【合同】メインホール
【河川】・【都市】メインホールＡ・Ｂ（分割使用）
〒950-0078　新潟市万代島6-1　　TEL　025-246-8400

1日目　7月30日（水）【合同】朱鷺メッセ　メインホール			
10：10 ～ 10：30	あいさつ	新潟県知事	平　山　征　夫
	〃	新潟市長	篠　田　　昭
10：30 ～ 12：00	地下空間の防災（韓国地下鉄火災の教訓） ※都市防災上の課題について、市民・利用者の立場から分析。	財団法人 市民防災研究所 主任研究員	青　野　文　江
13：00 ～ 14：00	今後の治水対策のあり方について ～事業評価を含む～	国土交通省河川局河川計画課 河川計画調整室 課長補佐	岡　村　次　郎
14：10 ～ 15：10	【特別講演】 人口減少時代の都市計画	都市プランナー・蓑原計画事務所 所 長	蓑　原　　敬
15：20 ～ 15：50	【地域における技術苦労話】 福島潟放水路事業	新潟県新潟土木事務所 治水課長	西　片　喜　章
15：50 ～ 16：10 ～ 16：30	【現場研修事業の紹介】 万代島再開発事業 （平成14年度全建賞） 鳥屋野潟（とやのがた）公園整備事業 （平成13年度全建賞）	新潟県港湾空港局振興課 万代島再開発室施設担当主任 新潟県土木部都市局都市整備課 都市公園整備係長	石　塚　　元（げん） 小　林　　斉（ひとし）
2日目　7月31日（木）【河川】メインホールＡ			
9：50 ～ 10：50	良好な河川環境の保全・復元と市民団体等との連携	国土交通省河川局河川環境課 課長補佐	佐　藤　寿　延
11：00 ～ 12：00	生きものにとっての川づくりの良否	淡水魚類研究者	君　塚　芳　輝
13：00 ～ 14：00	「水情報国土」について	国土交通省河川局河川計画課 河川情報対策室 課長補佐	森　川　幹　夫
14：10 ～ 15：10	都市型水害への対応について	国土交通省河川局治水課 課長補佐	塩　澤　賢　一
15：10 ～	閉会のあいさつ	新潟県建設技術協会会長	
	地域の独自調査		
2日目　7月31日（木）【都市】メインホールＢ			
9：50 ～ 10：50	都市計画制度の最近の動向	国土交通省都市･地域整備局都市計画課 企画専門官	神　田　昌　幸
11：00 ～ 12：00	街路・市街地整備の動向	国土交通省都市･地域整備局街路課 企画専門官	廣　瀬　隆　正
13：00 ～ 14：00	まちづくりの総合支援	国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課 都市総合事業推進室 企画専門官	穴　村　範　夫
14：10 ～ 15：10	今後の緑とオープンスペースの確保	国土交通省都市･地域整備局公園緑地課 課長補佐	加　藤　順　子
15：10 ～	閉会のあいさつ	新潟市建設技術協会会長	
	地域の独自調査		

【現場研修】　3日目　8月1日（金）

万代シルバーホテル前（8：30）出発　⟶　万代島再開発事業・朱鷺メッセ（一部下車見学）
⟶　福島潟放水路管理棟（下車見学）　⟶　福島潟放水路・水の駅（下車見学）
⟶　昼食（新潟市内：新潟ふるさと村）（12：00～13：00）
⟶　鳥屋野潟公園整備事業（下車見学）　⟶　新潟駅南口（15：10着後解散）

※上記講習会日程は都合により、講師、講義内容、現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第474回建設技術講習会「現場研修主な立ち寄り先の概要」

1. 万代島再開発事業……新潟市万代島

万代島再開発事業は、主に新潟コンベンションセンターや万代島ビルから成るコンベンション複合施設の整備を行ったものである。建設予定地は新潟地震の時に多大な被害を受けた軟弱地盤の地区であった。このため地盤に砂の杭を打ち込む工法などによる地盤改良工事を行うことで地震対策を行っている。一方で津波に対する対策として、建築施設の地盤面を標準水面から 2.5m 以上高くすることにしている。環境エネルギー対策についてはアトリウムの屋根に約 143m^2 の太陽光発電パネルを設置する計画であり、コンベンションセンター全体の中で消費し、少しでも地球環境に優しい施設となるよう配慮している。また事業に対する県民の理解を深め、その意見を計画に反映させるために、県民・市民の意見を聴取する場を積極的に設け、県、新潟市、民間事業者などで構成される万代島再開発会議を設けた。
再開発区域面積は対岸の地方卸売市場を含め 34..3ha であり平成 15 年 5 月の開業までの再開発面積は約 15.6ha である。

2. 福島潟放水路……豊栄市早通

平成１０年８月４日新潟県北部一帯を襲った豪雨（時間最大雨量 80mm、日雨量 262mm）により新井郷川流域では激甚な被害が発生した。そこで再度災害を防止するため激特事業で整備を行うとともに、福島潟上流部の折居川、荒川川の災害復旧助成事業採択に伴い、その流量増加に対応するため、復緊事業による整備を併せて行う上下流約 20km の水系一貫の河川事業である。
治水・・・・流域の安全度は 30 年に一回発生する規模の洪水を安全に流下させる整備を目指す。
河川利用・・・名山集落に設置する潟口堰上流は水路開削後ヒシや蓮の花が自然に再生し、元来潟であった頃を彷彿とさせる景色になるなど、豊かな自然環境に恵まれ動植物の宝庫となっている。そうした自然環境に配慮しつつ身近な安らぎ空間、環境学習の場として機能するよう整備する。
「放水路」……流路のある地点より新水路（河川）を開削し、洪水の全部あるいは一部を他の河川、海又は湖に放流する新水路（河川）のこと。

3. 鳥屋野潟（とやのがた）公園……新潟市清五郎　　【平成１３年度全建賞「都市部門」受賞事業】

本公園は新潟市の貴重な自然資源である鳥屋野潟を保全しつつ「人間・スポーツ・環境」を基本テーマに、県のスポーツ・健康づくりの拠点として位置づけられた広域公園である。
自然生態園、多目的運動広場、多目的芝生広場、メインスタジアム「ビッグスワン」を含め現在 62.1ha を供用している。「ビッグスワン」はワールドカップサッカー大会後は第一種陸上競技場としてスタジアム舗装等を整備してオープンさせ、現在は国体開催に向けサブトラックを整備中である。
事業全体の特徴として隣接する鳥屋野潟の浚渫土を造成に使用するとともに、河川・港湾・農地工事などと連携し、造成土を他工事から流用するなどコスト縮減を図った。また修景池や生態園の池などの自然石は、平成７年災害の糸魚川市の姫川で発生した石を運搬し使用している。災害発生土処理の一助をしながら良質の材料によるグレードの高い公園整備が実現された。

第474回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

① 宿 泊 料 金：宿泊希望者には新潟市内のホテルを**別記のとおり**斡旋いたします。
斡旋する宿舎のロケーション等を確認のうえ申し込んで下さい。
② 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
③ 宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に**下記旅行会社に直接送金下さい。**
④ 送 金 先：㈱日本旅行 東京法人営業部 ☎03(3593)0321 **FAX** 03(3593)0688
銀行口座 三井住友銀行日比谷通支店 普通預金口座№2994790
〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1（ニュー新橋ビル9F）
お振込の際は、振込名義の前に「**№474**」とつけ加えて下さい。

※取り消し・返金について

平成15年７月18日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
〃 ７月25日(金)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

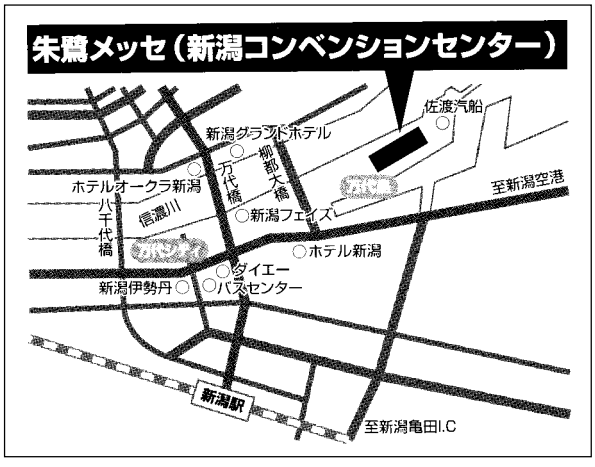
・申込後の宿泊予約の取り消し、変更については**上記旅行会社の「全建担当デスク」**まで直接ご連絡下さい。

平成15年7月29日(火)･30日(水)･31日(木)（1泊朝食付、サービス料込・税金込）

宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
万代シルバーホテル	新潟市万代1-3-30 TEL：025-243-3711	シングル	70名	￥9,800
新潟ワシントンホテル	新潟市笹口1-1 TEL：025-243-7311		150名	￥9,500
ホテルサンルート新潟	新潟市東大道1-11-25 TEL：025-246-6161		60名	￥8,800
新潟東急イン	新潟市弁天1-2-4 TEL：025-243-0109		50名	￥8,400
スターホテル新潟	新潟市万代3-1-1 TEL：025-241-3730		30名	￥7,000
宿泊斡旋人数合計			360名	

＊宿舎・部屋割りが決定次第ご通知いたします。なお、朝食が不要な場合は、お申し込み受付後、お送りする「宿泊案内」をご覧下さい。

会場・宿舎案内図



■会場までの交通案内

・JR 新潟駅から車で約５分

・新潟空港から車で20分

2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えのないよう記入願います。

平成15年　月　日

社団法人　全日本建設技術協会　殿

協会名　　印
（特別・賛助会員名）

第474回建設技術講習会（河川行政の課題、都市・地域整備行政の課題）申込書

参加者			勤務先	聴講者別		非会員	昼食不要（×印）	現場研修	宿泊予約日		
（フリガナ） 氏名 **（参加者が女性の場合は番号を○囲みして下さい）**		年齢	（所属課名まで記入のこと）	河川	都市				予約日に○印を記入して下さい		
				正会員	正会員	㊐ ㊎			7／29	7／30	7／31
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

※非会員の申込は河川㊐、都市は㊎と区別して記入願います

聴講料			
正会員・特別会員・賛助会員		名×　9,500円＝	円
〃	（昼食不要）	名×　7,900円＝	円
非　会　員		名×15,000円＝	円
〃	（昼食不要）	名×13,400円＝	円
現場研修料		名×　5,900円＝	円
		計	円

↑現場研修の昼食は不要の申し出はできません※

宿泊予約金
泊×4,000円
計　円

↓全建に振込

↓日本旅行に振込

〔申込にあたっての注意事項〕
①宿泊予約の取り消し、変更については別記旅行会社に直接ご連絡願います。
②申込金を銀行送金される場合、銀行振込の（写）を申込書に必ず添付して下さい。
③申込の締め切り日は平成15年6月30日（月）です。
④斡旋します宿舎は**1泊朝食付き**です。
⑤特別会員・賛助会員の方は正会員（聴講者別欄）の枠内に○印を記入して下さい。
⑥**非会員の申込は河川＝㊐、都市＝㊎と区別できるよう記入して下さい。**

（昼食について）
昼食時間が限られており、また、会場周辺には充分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
※現場研修の昼食について：
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。